

2022 年 2 月 10 日

## 2022 年 1 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

### <印刷用紙 A>

平判は引き続き学参テキストをはじめとした出版関連が堅調に推移し、また報告書関連も動いたため前年を上回ったが、前々年比でみると 93.1%であり回復までには至らなかった。

巻取は生損保関連、金融関連、チラシ関連の動きが悪く前年を下回った。前々年比では 67.1%であり回復には程遠い状況にある。

（前年比 平判 101.7% 巻取 89.7%）

再生紙は平判、巻取とも案件数、受注量の減少が見受けられ前年を大幅に下回った。

前々年比では 63.3%とさらに低調であった。

（前年比 再生上質平判 80.8% 再生上質巻取 88.4% 再生上質計 83.4%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 99.6%）

### <A2 コート>

平判は金融、生損保、医療関係企業カタログ、パンフレットで動きがあり、グロス紙、マット紙とも前年を上回った。

巻取は食品デリバリー、通販向けのチラシで動きがあり、グロス紙は前年を大幅に上回ったがマット紙は前年を下回った。

まん延防止等重点措置が実施され、各業界においてコロナ禍での自粛が継続されているが、昨年の 8 月以来前年実績を上回った。

（前年比 平判 105.3% 巻取 104.6% 全体 105.1%）

（前々年比 A2 コート計 88.9%）

### <A3 コート>

学習塾、食品スーパー、量販店、ドラッグストアの定期的なチラシ案件と一部百貨店案件で動きがあり、平判、巻取とも前年を上回った。

（前年比 平判 111.3% 巻取 105.8% 全体 107.6%）

（前々年比 A3 コート計 78.8%）

### <ノーカーボン紙>

自治体毎の細かい動きも見られ一部損保関連が動いたが、一般の帳票関連の動きは弱くペーパーレス反動もあり、平判巻取ともに前年を大きく下回った。

（前年比 平判 87.5% 巻取 88.1%）

#### <上質フォーム>

官庁、自治体関連の納付書、金融関連、一般の動きも堅調に推移し、ワクチン接種の動きも見られ前年を上回った。

(前年比 103.9%)

#### <包装用紙>

特殊両更は官公庁向け封筒の動きが堅調に推移し前年を上回った。

(前年比 107.4%)

軽包装は印刷物の動きが悪く、製本会社向けや雑包装用途が低調で前年を下回った。

(前年比 94.0%)

片艶晒は官公庁向け、生命保険会社向け封筒の動きは堅調に推移したものの供給不足が響き前年を下回った。

(前年比 94.5%)

両更晒は一般企業向け封筒、手提袋用途の落ち込みが大きく前年を下回った。

(前年比 77.0%)

純白ロールは人流の回復からお土産関連の包装用途などに動きが見られ低調だった前年を上回った。

(前年比 109.0%)

包装紙全体では 87.3%と前年を下回った。

#### <板紙>

コートボールは食品、菓子、医薬品、ティッシュ向けに動きがみられた。

高板は商印向けがやや低調であったが、特板のテイクアウト向けは依然として安定していた。

チップボールは文学賞関連で出版向けに一部動きがみられたものの、エンタメ、パッケージ向けが低調であった。全体的には前年を上回った。

(前年比 106.3%)